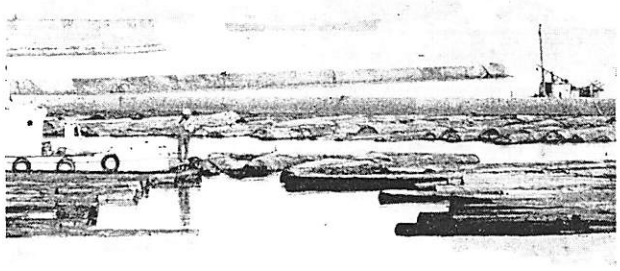
昭和47年7月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754—12
印刷 阿知須砂鄕よしの印刷

広報 あじす

No.248

町の住民登録人口
(47年6月30日現在) 前月比
世帯 2,005世帯 ＋1
人口 8.030人 ＋3
(男3.798人 女4.232人)
(国勢調査昭和45年10月1日)
世帯 2.008世帯
人口 8.030人
(男3.730人 女4.305人)



山口港が開港（国際貿易港）に指定されてちょうど一年。将来はこの港が本町の発展に大きく寄与するものと期待されていますが、この一年間にどれだけ影響があったのでしょうか、一年間の歩みを記してみましょう。

「開港」指定から満一年

木材積んで二十隻入港 税関も正式に「出張所」

山口港、つまり本町の沖合には若山産業阿知須合板工場が創業開始した年、三十八年の十二月から合板用の原木を積んだ貿易船が入港するようになりましたが、これは外国から直接入港するのではなく、門司や岩国港などに寄り道をして税関の手続きや検査を受け、そのあと阿知須へ入っていたわけです。

しかし、昨年七月一日に『開港』八月一日に『植物防疫特定港』＝木材の防疫＝に指定されてからは直接入港し、税関手続きや木材の消毒もできるようになったのです。

藤炎ハナノ（小西）川崎マチノ（小南）村藤志濃一（北祝）中川ヤスコ（南祝）上田忠三郎（恵比須）石川イネ、古谷美津子（築地）細村ヨシノ（東）谷山サミ、中野直子、江本キヌエ（細南）中村林一、香川トヨコ、細重清子（細北）河村富子（寺河内）三國アキヨ（野田）藤井武子、浜藤亥子（河内）藤田トナ（引野）

たばこは町内で

子井関園野ナツ、重永好甫（野田）藤井武子、浜藤亥子（河内）藤田トナ（引野）

暑さに負けぬよう

今月のテーマ

○ーツユがあけると暑さもいよいよ本物です。とかくこの時期になると、からだがだるい、食欲がないと言われて、お茶づけや、メン類で、さらさらという方も多いようです。さらさらという、夏の暑さには乗り切れません。こういう時こそ、からだに抵抗力をつける栄養食をとらなくてはなりません。

夏の食事に、油っこいものはどうも敬遠されがちですが、暑さにまけないからだをつくるには何といっても油料理が一番です。牛乳やバター、チーズ、野菜などたくさんとるようにしたいものです。

○一つゆ明けは衣類の虫ぼしも大切です。虫ぼしは、二〜三日晴天が続いたあとの乾いた日を選んでしましょう。タンスの引出し、押し入れなども、中のものを一度全部出して風をとおしておきましょう。

リズムある生活

町内の小中学校は今月二十日に終業式を行ない、二十一日から夏休みに入ります。

子どもたちにとっては楽しい休暇ですが、四十日を越す長い期間だけに、生活も不規則になりがちです。

しかし、家庭生活の正しい指導をするのは夏休みの期間ともいわれます。この機会をとらえて有意義な生活を送るよう習慣づけたいものです。

『規律ある生活』とは、きゅうくつなことのように感じられますが、いいかえれば『リズムのある生活』との考え方です。

リズムが一度くずれるとつぎつぎとそこなわれるおそれがあります。子ども自身に計画表をつくらせ、守らせるように指導や協力をしていきたいものです。

ベルが鳴ったら… 訪問してください

ひとり暮しに〝愛のベル〟

老人福祉

「病気などのときは、このベルを押してください」「はあ、これで安心しました」…ベルをとりつけてもらったお年寄りは一様にホッとした表情です。これは町が一人ぐらしの老人の家に、愛のベル・をつけたときのひとこま。

最近、老人だけの世帯がふえている中で、一人ぐらしも案外多くなっています。しかも、誰も知らないうちに病気で寝ついていたり死んでいたという例も全国的に多くなっています。そこで、町では一人ぐらしの老人の家に押しボタン式のベルをつけ、非常時に備えました。

対象は六十五歳以上で一人ぐらしの家。もし、病気や非常のときボタンを押して、近所の人の助けを借りようというわけです。

そのためには近所の人のご理解と協力が必要になります。もしベルが鳴ったら家を訪れてみてください。お願いします。

なお、このベルのある家は次のとおりです。

身体の不自由な人に 白・黄の杖を贈る

小郡交通安全協会は目や足など身体の不自由な老人を交通事故から守るため町内の老人三十人に白色または黄色の杖を無料で贈りました。

対象者があればさらにふやす予定です。

「出張所」の名称は正式に決まる

これで、山口港が国際貿易港として一段と格付けされたわけです。正式の名称は『大蔵省門司税関宇部税関支署阿知須出張所』となります。

事務所の建物は将来、建設される予定ですが、当分の間、これまでどおり阿知須合板工場内の一部を借りることになります。

（写真は沖合に停泊した貿易船）

社会保険功労で 感謝状

佐藤勲 古谷キクノさん

県社会保険大会は六月七日山口市で開かれましたが、この席上、本町の佐藤勲さん（西条・医師）に国民健康保険関係の功労者として、また国民年金納付奨励団体として浜表白菊会（代表古谷キクノさん）に県知事の感謝状が贈られました。

佐藤さんは国保制度ができた三十四年以来、町の国保運営協議会委員としてつとめられた功績また浜表白菊会は古谷さんがすっと集金を担当し、納付状況がよいことによる表彰です。

むだな水は使わわなよう

水道の〝節水〟

夏は水の使用量がふえ上ります。これに加えて、宇部市から買受けている水がこのところ減量されています。このため、簡易水道を利用されている家庭は〝節水〟のご協力をお願いします。

本町の簡易水道は四十年度からはじめましたが、当時四百七十戸だったのが、現在では七百六十六戸にふえ、三世帯に一世帯は加入している状態です。

町ではこうした増加を予想し、昨年から宇部市の上水を一日一百トン平均分譲してもらうことになり、水不足を解消しました。しかし、宇部市水道局では現在、水道施設の拡張工事のため、送水を制限しています。したがって本町への水も計画どおりに送れず、町としても〝節水〟を余儀なくされています。

こうした事情をくみとりのうえ、むだな水を使わないよう、ご協力をお願いします。

野鳥は許可を受けて飼おう

無許可のを近く取締り

メジロ、ホオジロなどは県知事の許可がないと飼うことはできません。このため、県では近く、無許可で飼育する人を取締ることになりました。

野鳥のうち、マヒワ、ウソ、ホオジロ、ヒバリ、メジロ、ヤマガラ、ウグイスの七種類を捕獲したり、飼育したりするのは県知事の許可が必要です。その他の野鳥は環境庁長官の許可がいります。

これら野鳥を飼う場合は役場産業課で手続きを済ませてからしてください。

交通事故防止 〝事故ゼロを〟めざして

『お知らせ版』＝六月号＝でも記していたように、本町の交通事故発生率は悪い方から県下四位飲酒運転事故は二位という不名誉な状況です。こうして事故を起した人たちの状況をみると起した人はもちろん、その家族さらには親戚まで苦しんでいる人たちがあります。それはかりか、被害にあって十分な補償もされず泣き寝入りの人もあります。交通事故を起したものの起きれたもの、ともどもに悪い思いにひたることになるわけです。

〝交通事故ゼロの町・阿知須〟…それを目標にみんなで交通安全につとめましょう。

一カ月百円引上げ

国民年金の保険料

国民年金の保険料が七月から百円ずつ引上げられました。将来、より多くの年金が受けられるための措置です。一カ月の掛金は次のとおりです。

国民年金五五〇円（旧四五〇）
所得比例九〇〇円（旧八〇〇）

◉巡回児童相談 中央児童相談所では、七月二十日午前十時から午後二時まで町役場で児童巡回相談を開きます。教育、しつけ、特殊児童、養護、教護の相談に応じます。ご利用下さい。

◉子ども会ソフト・ボール 恒例の子ども会ソフトボール大会は八月二・三日に阿中グランドでひらかれます。参加申込みは七月二十二日まで。町教育委員会へ。

◉婦人学級 七月十五日午後一時から役場で。この日は山口地区の保護司会総会が開かれるため、この記念講演を聞くことになっています。

◉町内野球大会 七月十六日（九日の予定を変更）に阿知須中試験の関合わせや受験申込みは県人事委員会事務局（山口市大手町六番五号）か県警察本部人事係（山口市亀町）へ。郵便で請求の場合は封筒の表に「警察官申込み」と朱書し、返信用の封筒（あて先を書き切手二十五円をはる）を同封のこと。

◉町内野球大会 七月十六日付け中で、締切りは九月二十二日学校で開かれることになりました。この日は阿知須中校で吉佐管内のPTA研究会も開かれます。このため、自動車で訪れる人が多いことも予想されるので、町内の人はなるべく役場の広場か、中学校から遠く離れたところに駐車されるよう協力願います。

◉自然愛護の標語・マーク 県立県教育委員会が自然保護をテーマとした標語、またはシンボルマークを募集。

①標語＝官製ハガキ一枚に一点（公募点数には制限なし）住所、氏名、年齢、職業（生徒は学校、学年）を明記。

②シンボルマーク＝官製ハガキ一枚に一点。サイズ八センチ四方の枠内にデザインしたもの。色彩は三色以内。簡単な説明を付記。

送り先は山口市滝町一番山口県観光課「自然保護標語」係。締切りは七月三十一日。賞は小中学生の部と一般・高校の部に分けてそれぞれ知事賞一点、佳作各五点発表は八月。

◉警察官を募集

▽警察官A（大学卒）B（高校卒程度）の二種約百名。昭和二十年四月二日から二十年四月一日まで に生まれた男子。申込はすでに受付中で、締切りは九月二十二日

◉。はっこん・くらぶ（山口銀行と取引きのある町内の商工業者十九人で結成、河村豊会長）は阿知須浦地区に行政区を明示する表示板約六十枚をとりつけました。地区外の人が訪れても、その付近の行政区が判るよう白塗りの鉄板に黒字で「西条区」「浜区」などと書いたものです。一行政区に四〜五枚ずつ。

◉。竹原清助さん（門松）は妻シモさんの香典返し一万円を社会福祉協議会へ。

◉。豊浦郡豊浦町小串石堂県立豊浦養護学校長 中野真栄さん（細田北区出身）は広報紙送料として二千円を町に。

善意はここに

7月の行事予定

10〜14日	一般住民検診
11日	育児相談（後1時〜3時）
13日	青年文化教室（後7時半）
14日	農業委員選挙投票日
〃	心配ごと相談（前10時〜後3時）
15日	保護司会山口地区総会（前10時）
16日	町内野球大会（前7時半・阿中グランド） 吉佐管内PTA研究集会（前10時・阿中体育館）
18日	老人大学（後1時半・阿小講堂）
20日	巡回児童相談（前10時〜後2時）
〃	終業式
〃	総合避難訓練（夜間）
28日	献血（前9時〜後4時）
8月2・3日	子ども会ソフトボール大会（阿中グランド）

〔会場の記入のないものはいずれも町役場〕

（とじておくと便利です）

加参仕に掃奉清居の皇居

（築地）　中野　平吉

宇部の「ときわ皇居奉仕団」に加わって皇居の奉仕に参加させていただきましたが、ひと口にいって、私にとっては『感激だった』の一語に尽きる思いです。

奉仕団には県下各地から八十二人が参加、五月下旬の四日間、皇居と東宮御所を二回ずつ、庭園や畑の草取り、庭木の剪枝作業をしました。年齢七十一歳の私が最年長で、あとは五十歳くらいの人が多かったようです。

作業は朝八時半から夕方四時までで、しかも、一定の時以外はたばこも喫えません。私たち男子は新神殿で、きれいなところがあると思いませんでした。

社会福祉協議会への活は、このたびのようなひとびを少しでもみなさんにおわけしたいという私のほんの気持の一端です。

（中野さんは皇居清掃奉仕参加記念に町社会福祉協議会へ二万円を寄付）

音盤録

私が歯の健康優良児になったので、私も、私の家のものもびっくりしました。母に聞いてみると、私とれまで、歯が痛いといって歯医者さんにかかったことは一度もないそうです。

家族のうち、父は歯があまりよくないようです。母はこの間、一度だけ悪いといって歯医者さんに行きました。それまでは歯が悪いと思ったことはないそうです。妹（四年）は虫歯が一本あります。

私が歯をみがくようになったのは小学校に入って先生からいわれたときからです。毎朝、みがいています。夜はときどきしかみがきません。

食べ物は、魚は殆んど食べません。母は私がおなかにいるとき、カルシュームをたべさんとるのだといって、牛乳や小さな魚をよくたべさせるそうです。お菜子は あまり好きではありません。おやつはパンをよく食べます。肉や野菜は好きです。

私が生まれたときのべさきは傾部だったそうです。今は身長は普通ですが、体重がたりません。でも、病気は小さいとき、ハシカをやんだだけで、あとは一度もありません。幼稚園四年過ってから、休んだのはハシカのときだけです。あとの三年間と、小学校に入ってきょうまで一日も欠席しています。

歯は健康の窓、といわれています。これからも歯を大事にして健康な生活を送りたいと思います。

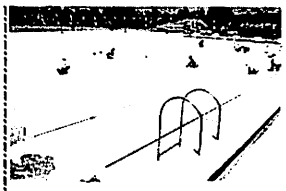
（武野さんは歯の健康優良児賞を受賞、吉敷郡代表となった。）

歯の健康優良児になって

武野　恵子（阿小六年）

さあ泳いでください

阿小プール　低学年用もあります



阿知須小学校の水泳プール建設工事は順調に進み、夏休みを待たずに泳がれます。

このプールは同校南側、陸上競技場を解いた跡地に建設したもので、普通プール（長さ三五、幅二一、八、深さ〇・八～〇・九メートル）と低学年用プール（長さ二〇、幅六、深さ〇・六五メートル）がくっついています。

総工費は約千五百万円。プールのそばには更衣室、管理室、シャワー、浄水機械などついています。

低学年用のプールがついているのは県下でも数少ないといわれています。

（写真は新設された阿小プール）

ここは危い!!

ことしも水難ゼロを

いよいよ水泳シーズン、子どもにも大人にも水と親しむ楽しい時期となりましたが、一方、心配されるのは水難事故のこと。毎年全国では多数の犠牲者が出て、楽しみ、が一瞬、悲しみ、に変ることが例のようにくりかえされています。本町では去年は一人も水死者がありませんでしたが、ことしも、犠牲者を出ないようにつとめたいものです。

そこで、水難事故を防ぐにはどうしたらよいか、みんなで考えてみましょう。

―危険区域では泳がないこと

町教育委員会は潮田や川尻など危険なところでは泳がないように注意の立札をしています。

場所以外に鎮魂碑、引率者、時間なども考えて泳ぐようにしましょう。

特に危険地域としているところはくのとおりです。

（梅）　魚市場付近、干拓第一水門付近、土居石川下流付近

（ため池）　牧堤（岩出）宮ノ脇池（河内）長堤（材川）江畑池（源田畑）岡山池（岡山）黒谷池（引野）

―人工呼吸

万一、おぼれた人があったときは人工呼吸をしましょう。最近は『呼気蘇生法』が奨励されています。おぼれた人を仰向けに寝せて鼻をかるくつまんでやり、口と口を合わせて、規則的に空気を同間も送り込んでやる方法です。ガーゼかタオルを口に当てれば衛生的です。この方法だと楽にできます。

体操の実技指導も十分受けられません。だからなるいほどよいと思います。

妊婦学級は講師の花咲さんが毎週間でも来て出かけられるようにしています。

子ども会の〝後援会〟

地域に育成会を

町教育委員会と町子ども会連絡協議会では来年度から子どもたちを、明るく、すこやかに育てるため、子ども会の育成会をつくる指導にのり出すことになりました。

育成会は、いわば子ども会の後援会に似た組織。地域の大人がみんなで子どもたちをあたたかく見守り、育てていこうというのがねらいです。そのために、子どもをもつ親はもちろん、子どものいない家の人たちも加わって、健全育成につとめようというわけです。

このため、町教委と町子連では育成会づくりを指導するため、町子連の片山事務局長や子ども会参与（五名）が町内を十五地区に分けて巡回、子ども会や育成会の設置を説いてまわることにしています。

おとなの学級から

青年文化教室

①人間は青年期『おとなになる』

『おふくろ』の三つの『ふくろ』を大切にしたい。

②人間、特に若者は体力を増強し、根性の養成につとめたい。

③スポーツを行ない、趣味を持ち、笑顔をもって生活し、ストレスの解消をはかりたい。

④感謝、愛情、信頼など人間の尊厳性を高めるようつとめたい。

（第一回青年文化教室で、阿知須中学校長　藤沢菊治）

妊婦学級

私は七月が臨月ですが、今回の話を聞いてみて、妊娠してからでは遅すぎる、という感じを受けました。よい子を産むためには結婚した時、いや、それ以前から正しい知識をつけておくことが大切だと教えられました。私のようにたくさんおなかをしている妊婦に大きなおなかをしている妊婦

にわざわざ六月と十二月の講習期に開かれるそうです。こうした機会をとらえて早く、正しい知識を身につけられるようおすすめします。私にとっては遅かった感じですが、内容は非常に有意義だったとよろこんでいます。

（砂三・古谷ツヤ子）

慶弔欄

出生（おすやかに）

父の氏名	続柄	子の名	生年月日	部落
石川　隆	長女	和美	5・23	北城
春日敏男	長男	健司	5・24	砂三
秋里　隆	二女	佳江	5・22	小南
中村信夫	一男	晃	5・27	赤迫
中谷晴祐	三女	香	6・12	鞘北
長尾　明	長男	明彦	6・9	浜表
長尾　弓	長女	弓子	6・7	岩西
井関　和	長男	和明	6・13	井関
長女　純	子	6・19	岩西	
森崎　守	女（村瀬）	宇部市西岐波		
タミ子	昌東	大阪府池田市		
野口　宏	長女（細田）	綱南		
桜子（高嶋）	順本典大矢町			

婚姻（おしあわせに）

氏名	死亡年月日	年令	部落
江本　初男	6・2	53	源河
利江（山田）	山口市佐山		
伊藤　和男	6・2	70	小西
明子（青村）	宇部市椋小野		
塚本　晟	6・7	66	中村
千恵子（三戸）	宇部市妻崎明作		
池村　憲昭	6・14	70	昌西
咲子（高）	北海道旭川市		
福重　勇	6・17	78	仙在
君子（中村）	宇部市東岐波		
中本　満春	6・29	41	岩西

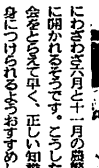
死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡年月日	年令	部落
岡本あさえ	6・2	53	源河
磯山　福作	6・7	70	中村
磯村ヤスノ	6・14	70	昌西
松田　佐一	6・17	78	仙在
小田　ユリ	9・24	70	材川
古里チサヨ			
中本　満春	6・29	41	岩西

窓の役場

◉「回覧板廃止」をきめます

リーン…！一一九番の「火事だ！」一瞬、全職員が緊張する。「消防の保カ、消火器は何の役カか」それには係員がどこで鳴ったらエーホカ！。それには係員



もゲッソリ。消防のことなら一一九番に思って、この電話をきれる人が案外多いのです。「一一九番は非常電話。もし、これを一般の用件のために使われたら本当の非常時に支障が起ります。一般用件は『二二四一番』へどうぞ。

◉「回覧板廃止」をきめます有線放送電話が鳴る。「火事だ！」一瞬、全職員が緊張する。「消防の保カ、消火器は何の役カか」それは係員がどこで鳴ったらエーホカ！。それには係員

現在のような月一回の広報紙発行はどれからがよいかもしれないもの。ものと思っています。回覧板がなくなると混乱しないと思っておられる人もまだあるようですが、ご理解をお願いします。

回覧板を廃止した理由は①お世話される人の労力を軽減する②経費の日数がかかる③家族そろって見る家が少ない、などです。

◉「家の清作をされるとこれが涙ぐいます。ところが涙ぐいっぱいに建てたら、へいや石垣を築いたりするとこが少なくありません。設計者をつくってから役場へ相談に来られる人もありますが、それが、境界の問題や構造について、再検討をしなければならないことが案外多いのです。せっかくできた設計図も、やり直さなければいけないことにもなります。

◉「町報廃止」をきめます

毎月一回発行」に記載し、全員に配っています。だから、この内容は、個人宛てのものでもあるわけで、見逃すことのないようよく読

短歌

第38回阿知須短歌会詠草

中野　桂子

幼き日蚕養拾いし明神様の大知名はいま何ぞそびゆる

橋本　敏子

十七夜祭の客集帰りて明け方に花火聞きつつ器を洗う

原田　英子

グミ赤く熟れたる庭に風吹きて半にからみストッキング取り入る

柳瀬　幾代

活子となりし己の歌を崔純によろこびて聴かれし二十幾年

藤永ミツノ

老生の上に座りて孫をあやし居る一家だんらんを吾は見て過ぐ

部坂　秩子

外人のなかわれ一人まじりの乗るエレベーターに落ち付かずをり

蓮沼久子

家族が選う樹えたにしろ付ける小鬼掛け鯉幟は早し

松代　一郎

ざっしりとしげれる蕗のそき葉のひとときうこげり風わたるひ

渡辺　竹子

ひからびし海ほうずきをそき夜後う手を休め一人ならしつ

上重　朝子

よくできし友の菊畑を見て思う来年は吾もよいそ作らん

大野キヨエ

明日にせまりし交渉思い居る夜半に卵ふたつ湯に吉る音

聚重　斉ぬ

今朝逝きし近の通夜の又る中小雨聞きつつひと夜寄たく

正司ウメノ

椎の花咲ける阿弥陀寺つく鐘の余韻はながく出ともりぬ

中野　桂子

第三十九回短歌会

七月十六日（日）午後一時から町役場会議室。指導は友広保一先生（山口）

投稿七月十二日まで

俳句

―町民あなたの作品をお寄せください。―

―文芸―